

みんなのけんこうガイド



おとな
 (おおむね
30歳～64歳)

こども
 (乳幼児)

駐車場は、児玉総合支所または第二庁舎をご利用ください。

児玉保健センター ☎ 5540

本庄市保健センター (本庄市休日急患診療所) ☎ 2003

乳幼児健康診査・健康相談 【受付時間】 印・・・午後1時～1時30分、 印・・・午前9時30分～10時
 *対象者には通知します。

内容	対象となる人(お住まいの地域)	日程	会場
3～4か月児健康診査	平成19年1月生まれ(本庄地域)	5月31日	本庄市保健センター
	平成18年12月～平成19年1月生まれ(児玉地域)	5月17日	児玉保健センター
9～10か月児健康相談	平成18年7月生まれ(市内全域)	5月31日	本庄市保健センター
1歳6か月児健康診査	平成17年10月生まれ(本庄地域)	5月30日	本庄市保健センター
	平成17年10月生まれ(児玉地域)	5月16日	児玉保健センター
2歳児健康相談	平成17年4月生まれ(市内全域)	5月29日	本庄市保健センター
3歳児健康診査	平成16年4月生まれ(本庄地域)	5月29日	本庄市保健センター
	平成16年2月～4月生まれ(児玉地域)	5月15日	児玉保健センター

予防接種 【受付時間】午後1時～1時30分
 *対象者には通知します。対象月齢を過ぎても接種していない場合はお問い合わせください。

内容	対象となる人(お住まいの地域)	日程	会場
BCG予防接種 (接種可能な月齢: 6か月未満)	平成19年2月生まれ(本庄地域)	5月2日	本庄市保健センター
	平成19年2月生まれ(児玉地域)	5月18日	児玉保健センター

相談・学級 【会場】児玉保健センター
 *電話による育児相談は、各保健センターで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

内容	対象となる人	日時	その他
すくすく相談 (育児・栄養相談、計測)	相談・計測希望の人	5月15日 午前9時30分～11時	前日までに電話予約してください。
コアラクラス (育児学級)	2～3か月児とその保護者	5月10日・6月7日 午前10時～11時30分	対象者に通知します。
カンガルー広場 (情報交換・友達づくりの場)	0～2歳児とその保護者	5月1日・6月4日 午前9時30分～正午	おやつを持ち込みはできません。
おや親タマゴ(全4回)	これからママ・パパになる人	6月1日・8日・13日・16日 午前9時30分～正午	先着20組。事前に電話予約してください。16日はできるだけご夫婦で参加してください。
わんぱくツインズくらぶ (情報交換・友達づくりの場)	多胎児とその保護者	5月24日 午前10時30分～正午	多胎児を妊娠中の人も歓迎。



健康診査

子宮頸部がん・乳がん検診（集団検診）を実施します。前年度受診者、新規対象者には受診券を郵送しました。受診券が届かない人が受診を希望する場合は、保健センターまでお問い合わせください。

会場	日程
本庄市保健センター	6月1日、4日～8日、11日～15日
児玉保健センター	6月18日～21日

- ・受付時間 午後1時～2時
- ・対象者 子宮頸部がん・・・20歳以上の女性
乳がん・・・30歳以上の女性
- ・料金 子宮頸部がん・・・600円 乳がん(視触診)・・・300円
乳房レントゲン撮影・・・600円

子宮頸部がん検診については、指定医療機関で個別検診を受けることもできます。対象者は集団検診と同じです。どちらかを選んで受診してください。

- ・実施期間 5月1日～平成20年3月31日
- ・料金 1,700円

大腸がん検診の受診希望者は、集団検診の時にお申し出ください。料金と引き換えで、採便容器と検診日程表をお渡しします。

- ・料金 500円

教室・講座【会場】本庄市保健センター

「上手にヘルスアップ」

～男性限定！カッコいいスタイルを取り戻そう～
男性のあなた！一番格好よかったころに戻りましょう！2回シリーズで実施します。

「Part1 食事編」

理論だけでなく、実習も行います。お楽しみに！

- ・日時 5月22日 午前9時30分～午後0時30分

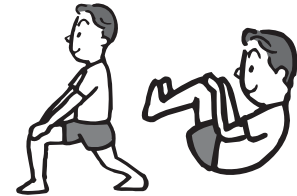
「Part2 運動編」

実際に体を動かしましょう。

- ・日時 6月25日 午前9時30分～11時30分

共通

- ・対象者 おおむね30歳～64歳の男性
- ・会場 本庄市保健センター
- ・定員 20人（先着順）
- ・申込 5月16日 までに本庄市保健センターへ



医療メモ

本庄市児玉郡医師会広報部

大腸がん検診で 死亡率が半分に

日本では近年大腸がんが増加していますが、その要因には動物性脂肪や動物性食品、アルコールの過剰摂取、喫煙などが挙げられます。

1950年から2000年の50年間で、大腸がんの死亡率は急上昇していて、男性が10・9倍、女性が8・4倍に増加しています。

最近、検便による大腸がん検診を受けると、大腸がんで死亡する確率が半分程度に下がると推測されるという調査結果が、厚生労働省研究班から出されました。

今回の研究では、1990年に岩手、秋田、長野、沖縄県に住む40歳から59歳の男女約54,000人にアンケートしました。

対象者に、過去1年以内に便潜血検査（便に混じった血の有無を調べる検査）による大腸がん検診を受けたかを聞きました。その後、回答し

た約42,000人を、2003年まで追跡調査しました。

検診を受けていた約7,000人は受けていなかった約35,000人に比べて、大腸がんで死亡した確率が約7割低かったそうです。

さらに、検診を受けたグループでは、大腸がん以外による死亡も、受けないグループより約3割低かったそうです。

これは、検診を受けたのが健康全般に気を使う人であり、受けない人より生活習慣が良いためだと考えられます。

研究班は、大腸がん以外による死亡の減少分を差し引いた確率が、検診そのものの効果だと判断しました。

以上から、検診を受けることによって、大腸がんの死亡率はおよそ半分程度になると考えられます。

本庄市でも検便による大腸がん検診を行っていますので、心配な人はぜひ受診をお勧めします。

